

インドネシアの番組と日本のテレビ番組の比較

ウィジャヤ・アストリッド

テレビは一つのマスコミとして日本のメディアの受け手、読者や視聴者にも重大な影響を与える。¹どこの国にも、テレビというものがあるが放送されている内容は同じではない。そこでその内容の違いを調べるため、各国のテレビ歴史から書き始めることとする。日本のテレビ放送の歴史は昭和 28 年（1953 年）に始まった。まず NHK が 2 月 1 日に本放送を開始、同年 8 月 28 日、日本テレビ放送網（NTV）が民放として初めて本放送をスタートした²。インドネシアの場合、テレビ放送の歴史は 1962 年（昭和 37 年）に始まった。国営放（インドネシア共和国テレビ、略して TVRI）が唯一の放送局としてテレビ業界を独占していたが、1989 年のラジャワリ・チトラ・インドネシア・テレビ（RCTI）開局以来、ぞくぞく民間放送が生まれた。³

両国のテレ歴史を見ると、明らかに、日本のテレビ界は長い歴史を持っている。さて、日本のテレビ番組を挙げるともちろん色々ある。ニュースを除いては大体面白いものである。特にバラエティーの番組を見るとかなり多様である。テレビ局はみんなの満足をさせるためにできるかぎり面白い番組を作成するがそれは簡単なものではない。なぜなら、多くの人を満足させる番組を作成するのは困難だからである。またテレビ局はビジネスと深い関係があるためで、できるだけ多くの視聴者を引きつけようである。そのため、テレビ局は視聴者の立場に立ってどんなものを見たいかを考えなければならない。それに、視聴者の背景は様々であるためそれも一つの問題になる。

筆者はさらに日本に来て一ヶ月ぐらいの間に、自分の国と比べると、日本のテレビ番組はより面白いというか、違う雰囲気を持っていると感じた。それはほとんど放送されている番組に反映している。日本のテレビ番組とインドネシアの番組と比べてみると、やはり大きな相違があるだろう。なぜ日本のテレビ番組は面白いと感じるか簡単な理由は言えない。ある国に放送している番組はその国の社会、文化を映すとは言えるかもしれない。そこで私は日本とインドネシアのテレビ番組を社会や文化の方面から考察することとした。

¹ 桂敬一、1996 年「メディア王マードック上陸の衝撃」岩波ブックレット NO412、4 ページ

² 岡村黎明著、2003 年「テレビの 21 世紀」岩波新書、1 ページ

³ 小池誠、1998 年「インドネシア島々に織りこまれた歴史と文化」前田完治、195 ページ

この研究は、以下のような構成となっている。

- I. 日本とインドネシアのテレビ番組の特徴
- II. 日本とインドネシアのテレビ番組の分析
- III. 日本とインドネシアの社会や文化の違いの考察してみる。

．日本のテレビ番組の特徴

a. 日本のテレビ番組を見ると、特にバラエティー番組に字幕と様々な記号が出てくるのはめずらしくはないが、インドネシアのテレビ番組の母国で放送されている番組は、インドネシア語で書いてある字幕は出てこない。

どうして日本の番組なのに、日本語の字幕が出てくるのだろうか。ひょっとしたら、障害を持つ視聴者のことを考えているのではないだろうか。ニュース番組だけではなくて、娯楽番組も楽しめる様にではないか。特にバラエティー番組には、日本語で字幕が日本人にとってごく普通のことかもしれないが、筆者にとっては目新しいものである。インドネシアではこういうものは全くないので、最初は見慣れていなかったが勉強になるから本当に良かったと思う。この点で、日本のテレビは一つの勉強のいい手段と言えるだろう。それだけではなく、日本の番組のなかで特にバラエティー番組で使用されている言葉はそれほど正式な言葉ではないようである。

インドネシアではニュースのような正式な番組はもちろん、クイズ番組のような娯楽番組でも丁寧なインドネシア語を使用する。また他の特徴を挙げるとの朝ニュース番組に出てくる人はたいてい2人以上である。メインアナウンサーは2人いて、それ以外にもゲストスターが二人ぐらいいるだろう。ある民放では、毎朝6人も出てくるのを見たことがある。インドネシアのニュース番組でも、日本と同様、メインアナウンサーは2人いるがゲストは大体一人しかいない。たまに2人のゲストが出てくる場合もあるが、6人も出てくることはない。

b. インドネシアのテレビ番組の特徴。

「インドネシアは世界で最多のイスラム教徒を抱える国である」ということは多くの人
が知ってるかもしれないがインドネシアはイスラム国家ではなくて宗教国家である。国家
が決定するアガマ（宗教）が社会生活のあちこちで大きな力をもって存在している⁴。その
ことはインドネシアのテレビ局によって放送されている番組にも反映されている。毎朝、

⁴ *ibid*, 62 ページ

テレビ局が放送を開始すると、それぞれの局がほとんどイスラム教の番組を放送している。それは多分インドネシア人にとって、なじみのあることだけれどあまり宗教のことにこだわらない日本人にとっては、このような番組は不思議に思うのではないかと思う。

このイスラム教の番組は確かに月曜日から日曜日まで放送されている上に、局によっては時々午後同じような番組も再び放送されている。さらに、イスラム教徒にとって、一年で最も重要な宗教行事は、ラマダンと呼ばれる断食月間はテレビ番組にも大きな影響を与えている。その時期に放送されている番組はイスラム教の番組に変更される場合が多い。ドラマのストーリーもイスラム教の考えに関する話が多いのが、どのテレビ局にも現れる。その上、全体的にも、番組内容が変わっている。その時期に不適切なように思われる番組は一時的に中止されている。それらの番組は例えば：洋画ドラマ、ラテンアメリカドラマのような刺激の強いシーンが入ってるものである。

もちろん、ラマダン以外の時期には、他の宗教の番組も放送されているが頻度数的にははるかに少ない。それぞれの宗教の番組の時間帯は決まっていないが少なくとも一ヶ月に一回は放送されている。また、インドネシアのどのテレビ局も、毎朝開始する時は、インドネシアラヤという国歌を放送する。なぜこういうことをやるかは明らかではないがインドネシアは多民族国家からできた国民できるため分裂はいつまでも懸念することになっているのだろう。そのため、毎日インドネシアラヤの国歌を放送することで政府は「多様の中の統一」というスローガンを掲げ、多様な民族を統合するように国民を導こうしているのではないかと考える。それだけではなく、間接的な政治宣伝と言えるかもしれないが堂々とテレビ放送を政治手段として使用している政党も少なくない。特に選挙を迎える時期が一番目立つことになる。このようなことは日本ではあまり見られないだろう。

日本では、このようなことがないのは民族の分裂が問題になっていないので、国歌を放送するには不必要なことなのではないか。だから、日本のテレビ局で「君が代」という国歌を放送していないことは当然であろう。

II. 日本とインドネシアテレビ番組の分析

日本のテレビとインドネシアのテレビの番組表を比較してみる。日本のテレビ局としてはNHK総合局とTSS局を取り上げて、インドネシアの場合はTVRI局（国営）とインドシアル局（民放）を取り上げる。特にTVRIの歴史については前述に書いたため、今回はインドシアル局について少し説明する。インドシアル（IVM）は1995年1月11日に開局した。確かに一番に開局した民放ではなけれど民放の代表的な局と言えるだろう。以上のインドネシアと日本のテレビ番組を比べたところ、次のようなことが明らかになった。

1. 放送時間

放送時間を見ると、日本のNHK総合局はかなり長く（24時間）、インドネシアのTVRI局は一日、約19時間ぐらい放送している。また、民放放送の場合、日本のTSS局は約21.6時間放送して、インドネシアのインドシアル局は約20.5時間である。

2. ニュースの割合

各局のニュース割合を見ると、日本のテレビはNHK, TSSのどちらもニュース番組がインドネシアよりは割合が多い。さらに、日本のテレビ局の中でも、NHK総合は（一応国営局としては）民間のTSS局よりも割合が多いことは明確で、同様にインドネシアもTVRI局の方が、インドシアル局よりもニュースの割合が多くなっている。

3. 娯楽

クイズ、ドラマ、バラエティーのような娯楽の放送時間を見ると、インドネシアのテレビ局、特に民放のインドシアルでは割合が全体的の78%にも及ぶ。TVRI局が国営よりもずっと多い理由はインドシアルは民放の一つであり「コマーシャル収入に依存しているので、できる限り多くの視聴者目をひきつけようと、娯楽番組構成になっている」⁵のである。

3. 1 クイズ

インドネシアのテレビ局の娯楽番組は大体クイズ、ドラマ、洋画ドラマ、音楽からできている。特にクイズ番組のほうに、あまり豊富な知識は与えないだろう。もちろんそのなかにも面白くて豊富な知識を与える内容もある。例えば：日本で放送しているクイズ\$ミリオネア「TSS局、毎木曜日、19:00~19:57時」はインドネシアでも全く同じような番組が「Who wants to be a millionaire」というタイトルで放送されている。それを見ると、知識的なこともかなり入っているが、こういうクイズ番組はあまりないである。

また、最近、インドネシアで注目を集めている人気のある他のクイズ番組として、毎月曜日から金曜日までインドシアル局に、朝08:00~09:00、Kuis Siapa Berani（クイズ誰が勇敢か）が放送されている。このクイズの特徴はいつも生放送で参加者は100人に決まっている。その100人は5グループに分かれていて、各グループは20人にきまっているので、参加者はほとんど会社の人とか学校のような人々がたくさん集まる場所から来ている。

クイズ番組は普通夜に放送されているが、これは珍しく朝放送されていて、こんなに人気が出るとは本当に予想されていなかった。それに Who wants to be a millionaire クイ

⁵ *ibid*, 199 ページ

ズと比べてみたら、このクイズはインドネシア独自の制作であり、こんなに注目を浴びるのは稀である。

一方で、最近日本で人気が出たクイズ番組は毎水曜日、夜 21:00~21:54、TSS 局で放送されている「トリビアの泉」クイズである。「明日使えるムダ知識をあなたに」というキャッチフレーズで色々ななじみのない話とか情報を全国の視聴者から集める。そして、スタジオにいる 5 人の出演者はまず、最初のヒントを聞いて、その情報が面白いと思ったら、ボタンを押す。そして VTR を見て、さらに面白いと思えば、ボタンを押し、最後に出演者全員のボタンの数の合計が情報の提供者にお金として換算されて、送られる。

3. 2 ドラマ

日本は四季なので、放送されている番組にも四季が影響を与えているのではないかと思う。例えば：テレビでやっているドラマ番組はテレビ番組の雑誌の表紙を見たら、確かに「秋ドラマスタート」とか「春ドラマが登場する」など、四季を使用した言い回し方をしている。さらに、ドラマのシリーズはたいてい 11 回まで制作されている。そのドラマの長さは季節の期間と合っていて、そんなに長くは制作されていない。

逆に、インドネシアのドラマと比べてみると、一年間以上を上回った連続ドラマもある。自分が思うには、ドラマが始まった時にはいつ終わるかが決まっていなくてもし人気が出れば、いつまでも続くことになるようだ。例えば：インドシアル局に放送されている TERSANJUNG「プライド」、毎金曜日、20:00~21:00 というドラマは 4 年間以上放送されている。最初に放送された時は視聴者の評判が良く、そこまで人気が続くとは思わなかった。日本にも、11 回以上放送されているドラマがあるようだ。「渡る世間は鬼ばかり」というドラマは何年間も続いているそうだ。このドラマではごく普通の家族におこる問題を取り上げているのだが、この様に長く続いているドラマは日本では珍しいだろう。

3. 3 バラエティー

バラエティー番組は自分自身にとって、最も興味深いものである。なぜかという、インドネシアでは日本のようなバラエティー番組はあまりないからである。もちろんインドネシアにも笑いを取る面白い番組はあるけれど、日本のバラエティー番組は笑いだけでなく、内容の充実した、ためになるものが多い。例えば：HTV 局、日曜日、夜 21:00~22:00、「行列のできる法律相談所」のバラエティー番組を見れば、視聴者は綺麗な芸能人達を見るだけでなく、それに加えて法律の情報も理解できるようになる。それにスタジオにいる参加者（普通は芸能人）にあるケースについて、自分はどう思うかを判断させて回答させるという番組である。また、以上と同じように充実したためになる番組は TSS 局、金曜

日、夜 19:57-20:54 「ザジャッジ」というタイトルで放送されている。

4. 情報・教養番組

日本の情報・教養番組を挙げると、日常生活に関する内容はかなり視聴率を引くだろう。「伊東家の食卓」という番組は2002年10月の関東のテレビ視聴率TOP20の6位にあった⁶。インドネシアではこんな番組はあまりないのであるが情報・教養番組の例を挙げるとドキュメント番組が挙げられる。そのドキュメントの内容は大体自然とか動物についてであり、あまり日常生活に関していないものである。

5. スポーツ

日本では、一番人気のあるスポーツを言うと間違いなく野球である。スポーツの番組を放送したら、確かに一部は野球のコーナーがおいてある。それに去年11月のTV視聴率を見ると、日本シリーズ巨人—西部第1戦と2戦は1・2位にあった⁷。そして、野球以外、人気を維持してきたスポーツ番組はプロボクシング、相撲である⁸。

一方、インドネシアでは一番人気のあるスポーツは一応サッカーだが国際的に定評のあるスポーツを挙げるとバドミントンである。ほとんどのバドミントン大会、特に国際の大会がいつも放送されている。もちろん、他のスポーツの番組も放送されている。例えば：2002年日本・韓国で主催されたWORLD CUPもインドネシアで放送されて盛り上がった。

III. 日本とインドネシアの社会や文化の違いを考察してみる

テレビで映しているものはかなりそれぞれの国の社会や文化を反映しているだろう。その見方から日本とインドネシアの社会や文化を考察してみる。

1. 放送されている番組を見ると、日本のテレビ番組はより自由さを表している。特に、バラエティーのような娯楽番組の中で、その自由さは私にとって一番目立つものである。例えば：インドネシアではクイズのような、みんな楽しめるはずの番組でも司会者はもちろん出演者も、みんな正しい言葉を使用しているだけでなく、全体的に真面目な雰囲気になるようにされているような気がする。逆に、日本のバラエティー番組を見ると、その自由さを感じられます。この点で私にとって、日本とインドネシアのテレビ番組の相違が明らかになってきました。このように、日本の社会はインドネシアの社会と比べるとより

⁶ weekly テ V ビジョン、2002年11月22日、120ページ

⁷ ibid

⁸ 小田桐誠、1994年、「テレビ業界の舞台裏」、三一書房、36ページ

自由な風潮があるようである。

2. 日本は先進国といっても、確かに西洋の影響を受けているがまだ伝統的なものを守り続けているようだ。テレビで放送されている時代劇や各地方の祭りを見ると、そう思われる。インドネシアは多民族からの国民できていても、実際にそれぞれの地方の文化はあまりテレビに反映していないようだ。日本もインドネシアも西洋の文化に対して向かっているが日本はその西洋の文化を取り入れながら、自国の文化を守っている一方インドネシアは西洋の文化を取り入れて、自国の文化を忘れていたようだ。

参考文献

柱敬一、1996年「メディアマードック上陸衝撃」岩波ブックレットN0412、
岡村黎明著、2003年「テレビの21世紀」岩波新書、
小池誠、1998年「インドネシア島々に織りこまれた歴史と文化」前田完治
weekly テV ビジョン、2002年11月22日
小田桐誠、1994年、「テレビ業界の舞台裏」、三一書房、

資料 1

INDOSIARテレビ局(民放)

時間	番組名		日本語訳	簡単な内容
5:00-5:30	Embun Pagi	30分	朝の露	イスラム教の番組
5:30-6:00	Fokus Pagi	30分	朝のフォーカス	国内のニュース
6:00-6:30	Info Mancanegara	30分	諸外国の情報	他国のニュース
6:30-7:00	Dennis the menace	30分	デニスゲームナス	アニメ
7:00-7:30	Aroma	30分	いい匂い	インドネシア料理作り方の番組
7:30-8:00	Sensasi	30分	センセーション	番組の情報
8:00-9:00	Kuis Slapa Berani	60分	クイズ誰が勇敢か?	クイズ番組
9:00-10:00	Fiorella	60分	フィオレラ	ラテンアメリカのドラマ
10:00-10:30	The Great Adventure of Dai	30分	DAIの大冒険	イスラム教のアニメ
10:30-11:30	Parodi HUT Indosiar	60分	インドシアルテレビ開設記念	歌の番組
11:30-12:00	Patroli	30分	パトロール	国内に起こった犯罪の事件
12:00-12:30	Horizon	30分	地平	色々な国内の情報集
12:30-14:30	Blade of Furry	120分		洋画
14:30-15:30	Wild Angel	60分	ワイルドエンジェル	ラテンアメリカのドラマ
15:30-16:30	Kuis Tepat Berlipat	60分	クイズ当たると二倍	クイズ番組
16:30-17:00	Fokus Sore	30分	夕方フォーカス	国内のニュース
17:00-17:30	Kuis Famili 100	30分	クイズ100人に聞きました	クイズ番組
17:30-18:00	Hoteller	30分	ホテルマン	韓国のドラマ
18:00-19:00	Tirani Kehidupan	60分	厳しい生活	インドネシアの恋愛ドラマ
19:00-20:00	Karmapala	60分	カルマバラ	インドネシアの伝統的なドラマ
20:00-21:00	Kehormatan	60分	プライド	インドネシアの恋愛ドラマ
21:00-22:00	Kencan	60分	デート	カップル作りのバラエティー番組
22:00-23:00	Tantangan	60分	チャレンジ	ゲーム
23:00-01:00	Maverick	120分	マフェリック	洋画
01:00-01:30	KeagunganMu: Islam	30分	神様の偉大さ	イスラム教の関係がある番組

資料 2

インドネシアテレビ番組

2003年2月24日

TVRI局(国営)

時間	番組名		日本語訳	内容
5:00-6:00	Hikmah Pagi	60分	朝の知恵	イスラム教の番組
6:00-7:00	Berita Pagi	60分	朝のニュース	朝のニュース
7:00-7:30	English News Service	30分	英語版のニュース	ニュース
7:30-8:00	Pentas Ceria	30分	いぎいぎステージ	子供向けの番組
8:00-8:30	RT-RW	30分	地域組織	社会にある問題を討論する
8:30-9:00	DR TV	30分	DR TV	通信販売
9:00-9:30	Kesejahteraan Keluarga	30分	家族の暮らし	古布の活用(例)
9:30-10:00	Pariwisata	30分	観光地	インドネシアにある観光地紹介
10:00-11:00	Berita Daerah	60分	地方のニュース	特定地方のニュース
11:00-11:30	Hiburan: Live Jazz Musik	30分	ジャズ音楽	音楽の番組
11:30-12:00	Konteswara	30分	歌のコンテスト	電話を通してカラオケ番組
12:00-13:00	Berita Slang	60分	昼のニュース	昼間ニュース
13:00-14:00	Konsultasi Keluarga	60分	家族の相談	ある病気について医者と相談する
14:00-14:30	Metro Indonesia	30分	メトロインドネシア	国内に起こる事件・イベントのニュース
14:30-15:00	Pop Daerah	30分	地方のポップ	地方の歌集
15:00-15:30	Panggung anak	30分	子供の舞台	子供達は歌ったり踊ったりする番組
15:30-16:00	Dokumenter	30分	ドキュメント	自然
16:00-17:00	Grenek	60分	グレネック	マライの歌・詩に関する番組
17:00-18:00	Drama Komedi	60分	ドラマコメディ	喜劇
18:00-19:00	Berita Petang TVRI	60分	夕方ニュース	夕方ニュース
19:00-20:00	Gita Pesona	60分	魅力的な歌	歌番組
20:00-21:00	Café Pajak	60分	カフェ税金	税金に関する情報
21:00-21:30	Berita Malam	30分	夜のニュース	夜ニュース
21:30-23:00	Musik Rock&Blues	90分	ロック&ブルース音楽	娯楽
23:00-24:00	Head to Head	60分	話し合い	ある話題について議論する番組

ニュース	5.5時間	29%
娯楽	7時間	37%
情報・教養	4.5時間	24%
その他	2時間	10%
合計放送時間	19時間	100%